

こっこめ通信 06 2016

「新しい情報が必要」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

去年は毎月発生した台風ですが、今年は5月下旬になってもまだひとつも発生していません。2014年から続いたエルニーニョ現象（太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなる）は終息に向かい、夏頃からラニーニャ現象（逆に低くなる）になると言われています。そうすると西太平洋での台風の発生場所は、平常時より夏は北に秋は西にずれるそうです。夏以降の台風はどんな進路でやって来るのでしょうか？

さて、今回は「ビジターセンターでは初記録」「八丈島のオカヤドカリの仲間について」のお話です。

ビジターセンターでは初記録

大正から昭和初期にかけて、八丈島では鳥類研究者たちによっていろいろな種の鳥が採集され、標本として山階鳥類研究所に残されています。特に1922年5月から1925年11月まで島に滞在した靄山徳太郎氏は数多くの種を採集し記録しています。「靄山徳太郎 伊豆八丈島採集鳥類目録：鳥 Vol. 4 (1924-1925) No. 16-17 P 100-109」には114種の採集された鳥が記載されています。その時採集された種の中には、その後確認されていない種もたくさんあります。当時は今とは違い、島の中にはたくさんの水田が広がっていました。そのような場所があったこともあり、今よりもいろいろな種類の鳥が降り立っていたのかもしれません。

今回、その内の2種「オオヨシゴイ」と「サルハマシギ」が観察・撮影されたので紹介します。

オオヨシゴイ *Ixobrychus eurhythmus*

5月18日、植物公園内のバードサンクチュアリの池で確認されました。茂みに身を潜めて、近づいてきたカダヤシなどを捕食していました。留まっていたシオカラトンボを飛びついて食べた場面も観察されています。24日を最後に姿が見られなくなっていました。

山階鳥類研究所標本記録 3個体：1922年10月 ♂ 大賀郷村東里、1923年10月 ♀ 三根村、1924年5月 大賀郷村田ノ横原



オオヨシゴイ

Photography RisaOkuyama

サルハマシギ *Calidris ferruginea*

5月16日、大賀郷園地で確認されました。始めは2羽のムナグロと行動を共にしていましたが、翌日からは2羽のタカブシギの後をついて行動していました。他の鳥と共に芝生でミミズをほじくり出し食べていました。20日目までは同じ場所で確認されていましたが、その後の情報はありません。

山階鳥類研究所標本記録 2個体：1923年5月 ♂ 大賀郷村新田ヶ平中平、1923年5月 ♀ 大賀郷村新田ヶ平中平



サルハマシギ

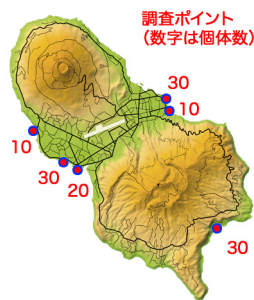
Photography MegumiKinoshita

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のオカヤドカリの仲間について

八丈島には「オカヤドカリ」「ムラサキオカヤドカリ」「ナキオカヤドカリ」の3種がいますと言われています。

そこで今回、オカヤドカリの仲間の確認調査を右の6ヶ所（三根の鴨川河口・東浦、大賀郷のヤケンガ浜・大潟浦・甚太、末吉の洞輪沢）で行い、それぞれの場所で見つけたヤドカリの種を判別しました。



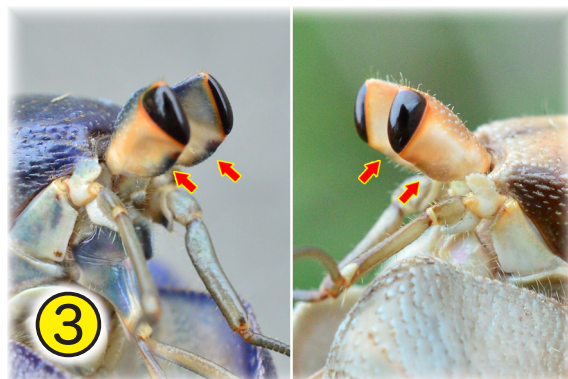
判別時の特徴のひとつが**左鋏脚の斜向顆粒列があるか？**（写真右 ②

矢印）斜向顆粒列は上記3種のうちオカヤドカリにだけありません。そして**眼柄の下が黒くなっているか？**（写真 ③ 矢印）ムラサキオカヤドカリは黒くならず、ナキオカヤドカリは黒くなります。また、**オスの第5胸脚底節突起**（写真 ④ 矢印）の形状も特徴ですが、殻に入っている部分なのでとても見えにくいです。

今回見つけたオカヤドカリの仲間を調べた結果、6ヶ所の調査場所で見つけた個体はすべて「ムラサキオカヤドカリ」でした。ムラサキオカヤドカリは成長段階で体色が違い、小さい時はクリーム色ですが、大きくなるにつれてムラサキ色に変わっていきます（写真下）。そして、ムラサキ色の濃い個体は、眼柄の下側にも少し色が付いてきます（写真 ③ 左側）。このページにはいろいろな色の個体の写真がありますが、すべてムラサキオカヤドカリです。

では、ナキオカヤドカリとオカヤドカリはどこにいますのでしょうか？もしかしてムラサキオカヤドカリの小さなクリーム色の個体をナキオカヤドカリと誤同定した可能性もあります。さらにムラサキオカヤドカリもナキオカヤドカリも「ギィギィ」と歯ぎしりのような音を発するのでそのことで間違えている可能性もあります。オカヤドカリは種の判別がはっきりしていない時の記載ということも考えられます。いないと決まったわけではないので継続観察していきたいと思います。もし、**眼柄の下が黒い個体を見ついたら、ビジターセンターまでご連絡お願いいたします。**

オカヤドカリの仲間は天然記念物に指定されているので観察したら元の場所にもどしましょう！かわいいからって持ち帰って、飼っちゃダメですよ！！



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や虫が見られるかも観察しています。今回は5月8日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成28年第5回） 参加者：沖山、青木、矢野、茂手木、佐藤、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			草本			シダ植物		
1	アオノクマタケラン	花,咲き始め	36	ニワゼキショウ	花と実	1	イシカグマ	
2	アシタバ	花	37	ヌカススキ	実	2	イノモトソウ	胞子葉
3	イワニガナ	花	38	ヌカボ	花	3	オオタニワタリ	新葉が展開
4	ウスベニチチコグサ	花	39	ハハコグサ	花	4	オニヤブソテツ	
5	ウスベニニガナ	花	40	ハルジオン	花	5	カニクサ	
6	ウラジロチチコグサ	花	41	ヒナギキョウ	花	6	コハシゴシダ	減っている
7	オオアレチノギク	花	42	ヒノキバヤドリギ	実	7	タチクラマゴケ	胞子葉
8	オオシマカンスゲ	実	43	ヒメクグ	実	8	タチシノブ	胞子葉
9	オオバコ	花と実	44	ヒメコバンソウ	実	9	タマシダ	
10	オニタビラコ	花	45	フウトウカズラ	雄花	10	ナチシゲシダ	
11	カタバミ	花と実	46	ムラサキカタバミ	花	11	ナンカイイタチシダ	
12	カラスノエンドウ	実	47	ヤエムグラ	花	12	ノキシノブ	
13	キランソウ	花	48	ヤマヌカボ	実	13	ハチジョウカナワラビ	
14	クサイ	花				14	ハチジョウシダ	
15	ケキツネノボタン	花と実	木本			15	ヒトツバ	胞子葉が目立つ
16	コケミズ	花	1	アオキ	若い実	16	ホシダ	
17	コケリンドウ	花	2	アカメガシワ	蕾	17	ホラシノブ	
18	コナスビ	花と実	3	イタビカズラ	実	18	マツバラソ	
19	コマツヨイグサ	花と実	4	イヌビワ	実	19	マメヅタ	
20	コモチマンネングサ	花	5	エノキ	若い実	20	ヤマイタチシダ	
21	シチトウスミレ	閉鎖花	6	オオシマザクラ	実	21	ワラビ	
22	シロバナマンテマ	花と実	7	オオバヤシャブシ	若い実	今回はシダ植物 21 種を含む 89 種の植物を観察しました。 樹木の若い実が目立ち、オオシマザクラのサクランボは熟して公園内も初夏の雰囲気の色濃くなってきました。 アケビコノハの成虫も出現しました。		
23	スズメノエンドウ	花と実	8	ガクアジサイ	花			
24	スズメノカタビラ	実	9	カジイチゴ	花			
25	スズメノヤリ	実	10	クワ sp.	若い実			
26	タチイヌノフグリ	花と実	11	サカキカズラ	花			
27	タネツケバナ	実	12	スイカズラ	花,咲き始め			
28	チガヤ	花と実	13	タブノキ	若い実			
29	チチコグサ	実	14	テイカカズラ	花			
30	チチコグサモドキ	花と実	15	ナワシロイチゴ	花			
31	ツメクサ	花と実	16	ハゼノキ	花			
32	トウバナ	花と実	17	ヒサカキ	若い実			
33	トキワツユクサ	花	18	ヒメユズリハ	花			
34	トキワハゼ	花	19	モッコク	蕾			
35	ニラバラソ	花	20	ヤマモモ	若い実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海の中のヤドカリ「フルセゼブラヤドカリ」にスポットを当ててみたいと思います。



フルセゼブラヤドカリ *Pylopaguropsis furusei*

ホンヤドカリ科のヤドカリ。伊豆諸島、小笠原諸島だけに分布していると言われていましたが、高知や屋久島などでも見つかっています。

八丈島では水深 20m 近くの穴の中などで普通に見られます。とてもきれいなヤドカリでダイバーに人気があります。和名・学名は、以前八丈ビジターセンターに勤務していた古瀬氏から付けられています。

2016 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日 はガイドウォークや 特別行事があります		1	2	3	4 ガイドウォーク
			02:11 08:33 14:59 20:45	02:58 09:38 16:06 21:46	03:42 10:25 17:04 22:40	04:25 11:10 17:56 23:29
● 芒種 5 ガイドウォーク	6	7	8	9	10	11 ガイドウォーク
05:06 11:54 18:45	05:47 00:15 19:31 12:38	06:27 00:59 20:16 13:21	07:07 01:43 20:59 14:02	07:48 02:27 21:41 14:43	08:32 03:15 22:24 15:24	09:23 04:13 23:10 16:07
☾ 12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	13	14	15	16	17	18 ガイドウォーク
05:25 10:31 16:56	00:01 06:46 12:05 17:57	00:56 07:57 13:47 19:09	01:48 08:50 15:07 20:21	02:34 09:32 16:04 21:20	03:14 10:09 16:49 22:08	03:51 10:43 17:28 22:49
19 ガイドウォーク	○ 20	夏至 21	22	23	24	25 ガイドウォーク 八文学講座 「海浜植物観察会」
04:25 11:16 18:04 23:26	04:58 11:50 18:39	05:32 00:02 19:14 12:24	06:07 00:38 19:50 12:59	06:43 01:15 20:28 13:36	07:23 01:56 21:07 14:15	08:08 02:42 21:50 14:57
26 ガイドウォーク	27	☾ 28	29	30		
09:02 03:36 22:36 15:43	10:10 04:41 23:27 16:36	11:39 05:55 17:39	00:22 07:11 13:21 18:54	01:20 08:19 14:54 20:14		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/12（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

八文学講座 「海浜植物観察会」

毎月行っている八文学講座。海岸ならではの植物の観察会を行います。新しい発見はあるかな？
6/25（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
現地（当日決定）集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2016.6.1 第181号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

1994年ダイビングの仕事をしていた時、見たことのないヤドカリを穴の中で見つけました。同じヤドカリを伊豆大島でも見つけ、標本にして古瀬氏に報告したのは私です(T_T)。それがフルセゼブラヤドカリとなって世に知られています。怒ってませんよ(^_^;) (高)